

心に残る文化財子ども塾 江津市立郷田小学校

1. 活動の概要

6月22日(木)、江津市立郷田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。学校周辺の遺跡や、勾玉について学習し、体験活動で「勾玉作り」を実施しました。

初めに、先生が学習の全体の流れを説明したのち、市教委の職員さんが江津市内に所在する遺跡について解説を行いました。その後、センター職員が勾玉の解説をしたのち、勾玉作りを行いました。

勾玉の作り方の手順を口頭で説明した後、勾玉の製作を始めました。製作が始まると、児童たちは集中して石を削りはじめました。作業について積極的に質問をし、よりよい勾玉を作ろうとする児童もいました。作業時間がやや短かったため、勾玉が完成しない児童もいましたが、家でより磨きたいと意欲的な姿勢を示していました。

作業中に見学できるよう、江津市内や島根県内から出土した考古資料を展示しました。児童たちは、身近な場所で考古遺物が出土することに驚きながら、興味深そうに触ったり眺めたりしていました。

2. 活動の様子



授業の様子



遺物見学の様子



勾玉づくりの様子1



勾玉づくりの様子2

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 体験してみて削るのがつらかったです。
- 土器をつくってみたい
- 遺跡を発掘してみたいです。
- 古墳時代や前の時代のものを食べてみたい。
- 472も(市内に)遺跡があったことが心に残った。
- この遺跡よりもっと固いので、大変だなと思いました。

2)担任の先生から…

- 【子ども塾全体を通してよかった点】市内の出土品の紹介や、古墳について話をしていただいたこと。
- 時間が限られているので、講義はテーマに絞った内容が望ましい。

3)埋文センターから

勾玉についての説明が長くて、勾玉を作る時間が短めになってしまい、申し訳なかったです。
これまでの社会の学習の振り返りと、予習に役立ててもらえればいいです。